



## 種苗部生産課より

私共生産課においては、常に会社種苗事業の業績と次年度の飛躍を考えながら、周到な資料調査に基づいて生産計画を立て、適地適作主義を原則とした作場の設定、作人の選定を行ない、種類別に品種毎の生産目標を樹て、絶対安全の状態において本年度の生産に当って来たわけであるが、いかなせん天候の前にはわれわれ人間の力は誠に微弱であつてこれを克服して行くことは難事中の難事であると言わなければならぬ。

本年度の天候は当初より太陽黒点説からも九年周期説からも、全国的に否世界的に異常であると伝えられ、わが国でも裏日本は言うまでもなく九州においてさえ未曾有の豪雪被害を見るといふような状態が関東地方においては、厳しい乾燥と寒害におそわれて春を迎えたといふようなことで北海道では更に、オホーツク流水観測説からも今夏の冷害凶作を予想して作付に入ったわけでありませぬ。

そして五〜六月の低温と日照不足の状態は全道農民を不安の底におとし入れておりましたが七月下旬から八月上旬にかけて意外の高温多照に恵まれ日に日に作物はその生育を挽回した。その後、八月中下旬の寡照は再び災いしたかに思われたが九月上旬の好天候によって水稲等は平年作を凌駕する様な豊かな稔りを見せるに至つたことは誠に幸いであつた。

このような天候の中にあつて種子の生産はどうであつたか。五〜六月の悪天候は既に生産期間の短い夏取作物の運命を或る程度決定づけた後であつて盛夏の日照高温は大して効力を発することが出来なかつたし、秋遅く収穫する枝豆や菜豆類はかなり好転したといふ移植栽培の水稲等とは異なつて発芽初期の遅れは完全に挽回するには至らなかつたが、昨年一昨年と引続いて長期豪雨の被害を受けた事を思えば北海道に於ける本年の採種はまあまあ恵まれた年であると言わねばなるまい。

### 秋大根種子について

今の生産課便りを記すに当りやはり最初に秋大根について記さねばなるまい。

秋大根種子の採種は昨冬の乾寒害、雪害等の未曾有の重なる悪条件にたたられてまことにみじめな状態で春を迎え、その後稍回復したかに思われたが五月以降の長期連雨で、六十年振り、または百年に一度といふような大凶作にも見舞われた。このことがはつきりしてきたのは五月末から六月に入つてからであり、しかも従来の凶作は地域的なものであるが、本年度は珍しく全国的であつたことは、事態を益々悪化し、道

民にとつても欠かすことのできない秋大根の種子が各品種を取り合わせても例年の二〜三割より入手できないという事態に入り、会社創業以来初めてという程これが対策のための会合を開き、次の事に努力した。

- 一 必要種子の確保
- 二 種子薄蒔きの指導
- 三 公正な分配と公正な価格の維持

かくて、かつてない大根種子の不足騒ぎも、会社挙げての努力と、御得意様各位の賢明な御理解と協力を得て、何とか充足することができたことは幸いであつた。

次に重要なものについてその生産概況を記してみよう。

### 牧草、飼料作物種子について

オーチャードグラス 前記のような条件下で生育したが開花最盛期の幾日かが好天候であつたので、例年以上に良い種子が、しかも計画を上廻つて生産できたが、雪印改良オーチャードの採種は過去二カ年の水害で被害を受けた地帯に多かつたために、今年も減産に終わったことは残念であつた。

チモシー チモシーは開花期中半以降に降雨に遭い授粉が不十分であつたため作柄は六〜七分作に終わつて了つた。

ワールドブROOMグラス 今年初めて本格的生産を行なつたが、採種量は極めて多い。収穫期自然脱粒し易いもので、収穫作業には更に研究工夫を要する。

青刈ライ麦 本年は幸い収穫期が好天候に恵まれ、早期に良種子が、しかも計画程度の生産集荷ができたことは幸いであつた。

麦刈燕麦類 太豊、豊葉、一〇一号共に生育期間の寡照多雨のため倒伏したものが多

く収量が大きく下廻つた為需要者の皆様は御迷惑を御掛けしたことを心からお詫びいたします。

家畜ビート 私共の重点指導作物の一つで、年々採種技術が向上したため、本年の気候条件を克服して良質種子が計画程度生産されたことは喜びにたえない。採種農家の方々には深く敬意を表したい。

雪印改良紫カブ 開花終期に降雨に遭つたが、大した被害はなく、府県各地でカブ種子の生産が悪かつたのに比べて当社のカブが計画量を上廻つたことは幸いであつた。

その他 青刈大豆、青刈菜豆、ボンキン等はこれからの収穫であるが、日照不足が基因して計画の七〜八割程度の生産が見込まれている。

### 園芸種子について

ホーレン草 低温寡照今年の天候はホーレン草の栄養生長には良かったが、反面、徒長気味で開花授粉が不良で成熟生長が悪く、採種量が極めて少なかつた。地帯によって良い所もあり、当社の採種圃は分散配置されておるので、総体的には略計画に近い生産ができた。

豌豆類 前年に引続いて今年度も道内で最も種子生産の不足したものの一つでありますが、御得意各位に御迷惑を御掛けしたことをお詫びいたしたい。

菜豆、枝豆類 発芽当初の悪条件が大きく影響して、作況は七〜八分作と考えられるが、品質は悪くないと予想されている。

最後に 今年の経験を生かして来年こそは皆さんに喜んでいただけるようにと、今から生産計画の想をねつております。(有沢)